

議会だより

第48号

R7.2

発行：那智勝浦町議会／編集：議会広報編集委員会／住所：〒649-5392 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字築地7-1-1 TEL 0735-52-0938



12月定例会

議案審議	P2～5
議案採決状況一覧	P5
ここを問いたい（一般質問）	P6～13
委員会報告	P14～17
まちの元気・笑顔・輝き	P18
（交流センター 太田の郷）	

39年ぶりに料金改定



12月
定例会

太田川浄水場
町内全戸数の約73%に給水している最大の浄水場

12月11日から19日まで9日間の会期で開かれました。

今議会では、令和6年度補正予算や給水条例の一部を改正する条例など、11件の議案等を審議しました。

給水条例の一部を 改正する条例

水道料金審議会における5回の審議を経て、令和6年3月6日に答申が出されました。その

中では、料金改定はやむを得ないとし、料金体系も水道管の口径に基づいた口径別料金体系への移行が望ましいとされています。

この答申を踏まえ、今回料金改定のため上程された給水条例の一部を改正する条例を審議しました。

水道料金改定 30%程値上げ

問 改定で水道管の耐震化は進むのか。

答 今回の改定は、年次ごとに重要施設や基幹管路の更新、耐震化事業費を設定した上で収支を計算しているため、耐震化を進めることができる。

事業用は撤廃

問 小規模事業者は水道料金が下がる場合もあるのか。

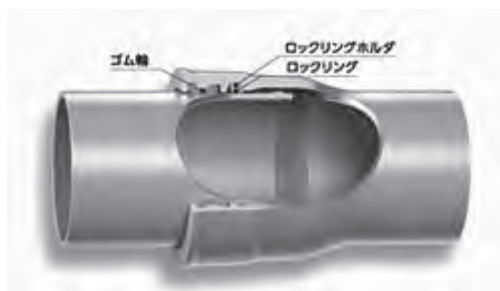
答 事業用を撤廃し、口径別の水道料金体系に変更する。

事業用で使用量が少ない事業者の場合、改定後、安くなるケースもある。該当者は586件で、全体の6.6%だと予測している。

水道問題、先送りに終止符

水道管 **耐震化** 進める!!

本町では、設置後 **40年** を超える老朽管が **60km** あります。(全体の **35%**)



100年の耐久性があると
言われている **Gxダクトイル** 鑄鉄管に
順次交換する。

討 論

賛 成



吾妻 議員

将来の安心できる生活のために

20年前に20%あげていれば、19億円の現金が残っていた計算もある通り、早急な値上げは将来の安心できる生活につながる。広報でも十分な告知をしており、住民のご理解を得られると考える。

賛 成



城本 議員

健全な水道事業会計のため、致し方ない

公共料金の値上げは基本的に反対だが、今回は審議会の答申も受け、健全な公営企業会計を維持するには致し方ないと考え。諸物価が上がるなか、町民の負担が増えることとなる。水道事業の更なる経営改善をお願いしたい。

反 対



津本 議員

水は 命と健康の源

物価高騰の中で町民の生活は厳しいものに。ごみ袋と水道料金の相次ぐ値上げに町民は納得しない。審議会の答申には「社会の動向を見極め、慎重に定めることが妥当」とある。災害はいつ起こるかわからない。国の予算が大きく減っている中で、まず国に水道の耐震化や改修への財政的支援を要望すべき。でなければ際限ない料金値上げにつながる。町民生活を守るため基準外繰り入れも検討すべき。

給水条例の一部を改正する条例は、賛成多数 (9 : 1) で可決されました

トイレカー購入

問 便器5基で足りるのか、またトイレ型は考えなかったか。

答 5基で賄えるとは考えていない。整備することにより、自治体間の相互支援体制

をつくることができる。トイレカー型でも便器数はほぼ変わらず、機動性の観点からトラック型を選んだ。

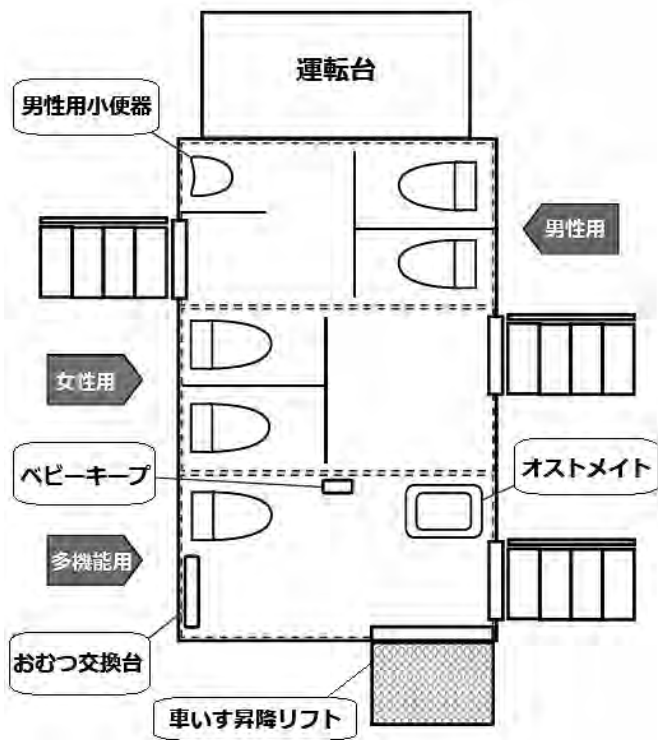
問 イベントでの活用も考えているとのこと、民間主催のイベントにも貸し出すことができるのか。

答 町主催でなくても趣旨に賛同し、トイレの不足を認める事

業であれば使用できる。使用に関する相談は総務課防災対策室まで、使用規定の整備も考えていく。

問 年間維持費はどのくらいかかるのか。

答 車検、保険、修繕費で約30万円および、汲み取り手数料になる。相互支援の観点により町村会から1回限りの補助がある。



- ・男性用 小便器1基、洋式便器2基
- ・女性用 洋式便器2基
- ・多機能用 洋式便器1基、おむつ交換台、ベビーキープチェア、オストメイト

能登半島地震でも活躍 トイレカー 23,020,000円

大規模災害時の衛生的で安全なトイレ環境が必要



トイレカー イメージ



中型免許で運転でき、非常時にはもちろん、平常時にはイベントでの活用も考えられている

勝浦小学校給食室の
給湯器取替工事の
設備仕様は適正か

問 給湯量等、現状の使用状況にあわせて設定で、今後の児童数減少や、発災時の避難所機能が考慮されていないのでは。また、将来的な小学校の姿に適した仕様になっているか。

答 現行の機器は電気式の給湯器である。メンテナンスや設備自体が高額なため、灯油式のボイラー設置とした。避難所のスポットクーラーはガス式のため、汎用性はない。

問 ゼロカーボン関連の補助金を活用できないのか。

答 電気式設備はメンテナンスが複雑であるので、考えていない。なお、早急な対策が必要なため、補助金は考慮していない。



【現状の給湯器(電気式)】
ヒートポンプユニット(不具合あり)
(給食対応のため早急に入替必要)

問 設置予定の給湯器数は、6基組。

答 単体6基なら、適宜増やして運用することはできないか。基数を含め、頂戴した意見を精査する。

要望 使用燃料が廉価であるという視点だけで仕様を考えるのではなく、不測の事態に備え、広い視点で設備仕様を再度検討していただきたい。



【入替給湯器(灯油式)】
使用燃料は精査中
(災害時対応も検討必要)

議案の採決状況一覧

令和6年第4回定例会で審議された議案は以下のとおりです
(○賛成 ×反対 議長は採決に加わらない)

議 案	氏 名	引地 稔治	吾妻 正崇	城本 和男	曾根 和仁	藤社 和美	西 太吉	加藤 康高	東 信介	松本 和彦	津本 芳光	勝山 則子	議決結果 (賛成：反対)
令和6年度一般会計補正予算(第6号) ※専決処分		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	承認(全会一致)
和歌山地方税回収機構の共同処理する事務の変更及び和歌山地方税回収機構規約の変更に関する協議		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
税条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
給水条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	可決(9：1)
令和6年度一般会計補正予算(第7号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和6年度国民健康保険事業費特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和6年度介護保険事業費特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和6年度勝浦地方卸売市場事業費特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和6年度水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)

※専決処分とは…議会の議決が必要な事件について、緊急で議会を招集する時間的な余裕がない場合に、町長が議会に代わって決定を行うこと。専決処分を行った場合、町長は次の議会で報告をし、承認を求めなければなりません。

○人権擁護委員の推薦 ⇒ 小林 真人 氏(宇久井)を適任者として答申

ここを聞きたい



津本 芳光 議員 (7ページ)

- ・公共料金の公共料金の値上げではなく、膨大な基金の活用を
- ・町民が安心して住める町づくりを



城本 和男 議員 (8ページ)

- ・新クリーンセンターが出来て変わることは
- ・道の駅の報告会、参加者の意見をどう活かすか



勝山 則子 議員 (9ページ)

- ・早期発見でフレイル予防を
- ・マイナ保険証の普及と利用促進を



藤社 和美 議員 (10ページ)

- ・大門坂駐車場の美化とおもてなしのバス停へ
- ・人口減少といかに向き合うか



吾妻 正崇 議員 (11ページ)

- ・一番力をいれている地域振興は何ですか
- ・自然を体感できる環境整備を



松本 和彦 議員 (12ページ)

- ・懸泉堂活用は、何億も掛ける事業ではない！
解体するべきでないか？



加藤 康高 議員 (13ページ)

- ・最終的な町の方向性の決定は町長で良いのか
- ・海岸線沿いの地区にも避難タワーを

※一般質問に関する記事は **質問者本人が作成** しています

◆一般質問とは◆

議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質す大事な議員活動の場です。

公共料金値上げではなく

膨大な基金の活用を

水道課長

安全な水をお届けするため 早急な財政状況の改善が必要

基金があるのに
なぜ値上げ？

質問

物価高騰の時に公共料金を値上げ。町長は説明責任を。

答弁（町長）

ごみ袋は原価が上が
り値上げを。水道料金は39年間値上げせず。孫の世代まで負債を残さぬよう改定する。

質問

水道料金は今後さらなる値上げも予想される。水の問題は命の問題であり、水道事業は公衆衛生の問題。

答弁（水道課長）

水道事業は公営事業で独立採算制。水道事業が原価割れのため、値上げを判断した。

質問

公営企業であっても福祉の向上も目的と法律にある。国に水道事業の増額要望を。

答弁（水道課長）

国に要望もしているが、現状では交付は受けられない。引き続き利用しやすい財政支援を求めている。

質問

会計年度の剰余金を積み立てた基金が約36億円。値上げの必

要はない。剰余金は全
て基金に積み立てず、
町民に還元し、安心・
安全の町づくり。

答弁（水道課長）

近年の物価高騰が水道事業にも影響を及ぼしており、基幹施設や管路の更新及び耐震化を進めるため、今回値上げをお願いしたい。

現行保険証の
継続を

質問

マイナ保険証への移行は任意だが、紙の保険証はいつまで利用できるか。マイナ保険証の登録をしていない人への資格確認書の送付時期は。

答弁（住民課長）

国民健康保険は令和7年3月31日まで、後期高齢者医療保険は7月31日まで利用できる。資格確認書の送付時期は、今までの保険証と同じような時期に送付する。

町民が安心して
暮らせる町に

質問

子育て世代への具体的なビジョンを。串本町と新宮市は病院保育も実現。図書館・児童館の問題も同様。

答弁（町長）

病児保育の問題は考えたが、小児科医がない。新宮市とは広域化での相談も。

質問

町営バスの運行と巡回コースの検討を。

答弁（総務課長）

町営バスは地元区とも相談し利用しやすいものに。

質問

本町は観光地でありながら暗い。街灯のLED化も。

答弁（建設課長）

街灯のLED化を事業として実施。

意見・要望

町政懇談会参加者は、丹敷の湯は閉鎖との受けとめを。本町は温泉で潤った町。安く入れる公営浴場は必要。公共施設整備基金で計画的に取り組み、道の駅の充実と収益向上を。道の駅は熊野古道の重要な場所。道の駅に観光機構を移すことも検討しては。



津本 芳光 議員

これから、カーテン等は切って出すのか

住民課長 収集車や施設で引つかかる

今後もお願いしたい

新クリーンセンターが出来て変わることは

質問 カーテン等長いものは50cm以内に切断して出すこととされているが、施設が新しくなっても変わらないのか。黄色の紙が貼られて残されているが、これを改善できないか。

答弁 (住民課長)

長尺のものは収集車やピットで巻き付くので今後もお願いしたい。持ち込みなら有料だが切らなくてよい。他の市町も同じだと思う。



ゴミステーションにいつまでも残っているごみ

質問 本町の出すごみの量は他と比べてどうか。施設が新しくなるのを機に、町全体でごみの減量化に取り組んでいけないか。

答弁 (住民課長)

生ごみ処理機の貸出しやコンポストの紹介など、広報で啓発をしている。

意見 他の町では住民参加のもとで「ごみの減量行動計画」をたてて住民自ら減量に取り組んでいるところがある。ゼロカーボン宣言した町として、もっと積極的に取り組みをするべきだ。

道の駅の報告会、参加者の意見をどう活かすか

質問 なぜ回覧で町民に周知しなかったのか。案内は十分だったか。

答弁 (農林水産課長)

SNSを中心に案内、後日回覧した。

質問 道の駅を活性化したい、応援したいの思いで参加された人ばかりだが、農林水産課長は赤字の迷惑施設のような説明をした。

道の駅をどう活かすか。本来、観光企画課の所管である。なぜ町のトップや観光企画課



城本 和男 議員

長が出席しなかったのか。
答弁 (観光企画課長) 所管が農林水産課となっている。

質問 コンサルで三度ほどヒアリングをすると言って予算を可決したが、なぜやらなかったのか。

答弁 (農林水産課長)

コンサルの代わりに今回の報告会をした。

また「災害時の対応と事務のDX化について」田辺市で進めているドローンの活用、デジタルツインを早期導入

するよう提言しました。

報告会では色々な意見がでました（一部を紹介します）

- ・道の駅なちの特色である「丹敷の湯」を残して欲しい
- ・赤字の説明でなく「町はどうしたいのか」聞いたかった
- ・民間企業なら改修や修繕費を最初から見込んでいる
- ・なぜ太地の道の駅のように経営できないのか
- ・道の駅は熊野那智の観光の拠点となる交流施設である
- ・ここで出たみんなの意見はコンサルや町長に届けてくれるのか
- ・便利で気軽に入れる公共の温泉、勝浦温泉の顔となって欲しい

早期発見でフレイル予防を

町長 介護予防として、

できるところから進めていく



聞こえの衰えを早期に発見し、フレイル予防の取り組みが必要では

質問 聴力が低下すると、コミュニケーション不足につながり、認知症やうつ状態のリスクが高まる。ある自治体ではフレイル予防で成果をあげているが本町での取り組みは。

答弁（福祉課長）

フレイル予防のためには、栄養、身体活動、社会参加が大事。難聴も一つの要因。来年度には、町内の各地域において、高齢者を対象に体力測定を実施。その中で聞こえのチェックを行

い、適切なアドバイスや実態の把握に努めていく。

難聴の早期発見を

質問 年齢にともなう耳の衰えは、放置しておくとも認知症につながる恐れがある。早期発見するため、高齢者の月一回程度の耳鼻科医師による診察を行うことはできないか。

答弁（病院事務長）

町立温泉病院では、新病院に移転の際に耳鼻科を廃止しており、スペースや医療機器の整備が課題である。

マイナ保険証の普及と利用促進を

質問 従来の保険証は新規発行されなくなり、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行されるが、今後の取り組みは。

答弁（住民課長）

マイナ保険証を利用していただけるよう周知していく。暗証番号を忘れた場合は役場住民課で設定することができる。マイナ保険証を登録していない人には、資格確認書が交付される。

デジタル社会のツールに

質問 マイナンバーカードを利用した活用は。

答弁（福祉課長、消防長）

今後、全国的に医療費助成や予防接種、妊婦健診などで活用が進む予定。また救急医療においても、救急搬送された際、マイナ保険証を読み取り、速やかに適切な治療ができるよう、令和7年度をめどに進めている。



勝山 則子 議員

大門坂駐車場の美化と おもてなしのバス停へ

町長 抜本的な改修を考えているが、

できる範囲でやる

質問 町内美化は観光

立町の当町には大切なもの。訪れる方の多い大門坂駐車場の美化は特に大切と思うが、草刈りができていない。

答弁（建設課長）

年三回実施しているが、今後はスケジュールや委託などの方法を検討していく。

質問 令和5年6月議

会で提案したバス停改善の進捗状況は。

答弁（観光企画課長）

バス停の設置は民間事業所に委ねるものであるが、事業所と協議していく。トイレや駐車場を含め、基本設計

の準備を進めている。完成は早くして令和8年以降になる。

質問 バス停に関して

は、今できることをして欲しい。

答弁（町長）

全体の基本設計により改修していく、バス停はできる範囲で対応していく。

通学時の

熱中症対策

質問 令和5年12月議

会において、通学時の熱中症対策を提案したが、その後どうなったか。

答弁（教育次長）

特別な対策予算措置はしていないが、登下校時の熱中症対策グッズの許可や推奨をしている。

人口減少といかに
向き合うか

質問 当町の高齢化率

は44%を超えた。出生数は年間50人程であり、人口の「自然減」は続くものと考え。人口減少の対策は。

答弁（こども未来課長）

当町は出産祝い金、結婚支援金など、他自治体より充実した施策を推進している。

答弁（観光企画課長）

移住と定住受け入れの促進、及び改修を含めた空き家対策に取り組み、町独自の移住者向けパンフレットでPRしている。

答弁（教育次長）

奨学金は地元に戻れば半額免除の制度である。利用者にメリットがあり、成果が出ている。（病院事務長）

医療従事者対象の奨

学金があり、療法士も対象である。金額の検討や利用促進に地元高校にPRしたいと考える。

提言

子供たちの18歳での流出、多くの子供たちが帰ってこない地方に何が必要なのか。高等教育機関か、安定雇用か。残っている大人がしっかり考えなければならぬ。



他自治体より有利なものを用意することが重要



雇用創出の為に、ロケット産業の誘致に期待



藤社 和美 議員

一番力をいれている

地域振興は何ですか

観光企画課長 すべての地域振興が重要

地域振興

これを生かし、自然を
体感できる場所として
整備しては。

質問 地域おこし協力
隊及び集落支援員の活
用は。

回答（観光企画課長）
防災対策が重要な課
題であり、沿岸地域か
らの要望でもある空き
家状況の把握を行い、
防災対策につなげてい
く人員に活用したい。

質問（建設課長）
管轄が和歌山県にな
るので、相談をしてみ
る。

回答（観光企画課長）
従業員の不足により、
ホテルの稼働を制限せ
ざるをえない事例が発
生している。

働き手が 全く足りない

質問 町内の労働者の
数についてどのような
認識か。

回答（観光企画課長）
介護福祉施設では、
人材不足から、一部休
止している施設もある。

採用募集を行っている
が応募がない。
（病院事務長）

しながら、適切な処遇
改善を検討していく。

質問 外国人人材の活
用を町としてはどのよ
うに考えているか。

回答（観光企画課長）
外国人人材の確保は
各事業所で取り組んで
いただくものと考えて
いる。

質問 職員の採用、現
状と取り組みは
回答（総務課長）
令和元年には30名の
応募があったが、今年
は9名。必要な職員の
確保のため、育児や介
護を理由に離職した職
員を再度採用するカム
バック制度を今年度創
設した。

自然を体感できる 環境整備を

質問 宇久井の長野川
の護岸は親水公園のよ
うな作りになっている。

回答（観光企画課長）
せっかく作った親水護岸、活用されていない



で、どうやるの？

（農林水産課長）

人手不足が発生して
おり、水産分野では外
国人技能者を採用して
いるところがある。

（福祉課長）

介護福祉施設では、
人材不足から、一部休
止している施設もある。

質問 給食調理員や学
童支援員の不足もよく
耳にする。処遇改善は
難しいのか。

（総務課長）

処遇改善が難しいと
いうことではない。国、
県、近隣の状況を勘案

質問 一事業者ででき
ることもあるが、町と
してやらなければなら
ないことは。

（観光企画課長）

事業者の相談には、
県の補助金や相談、デス
クを紹介していく。

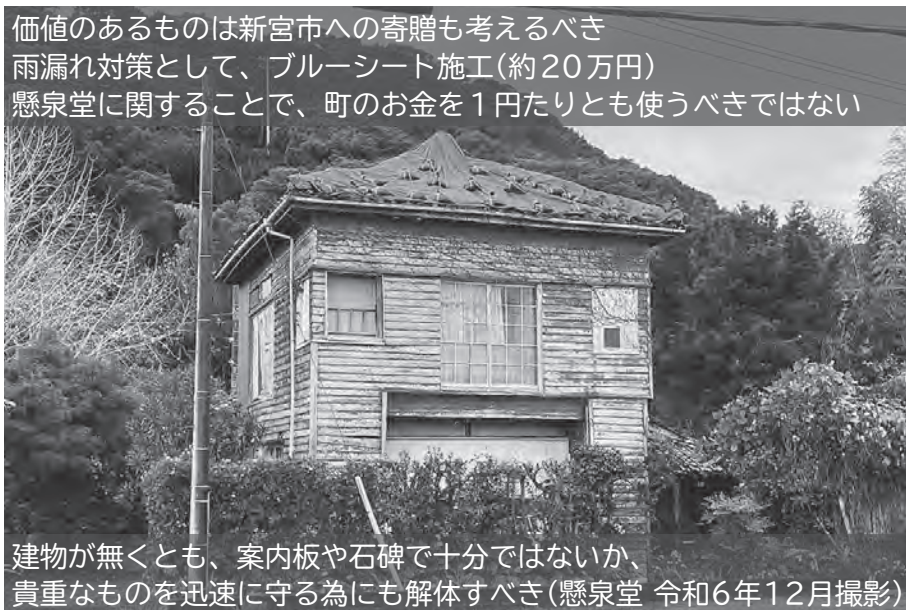


吾妻 正崇 議員

懸泉堂活用は、何億も掛ける事業ではない！解体するべきでないか？

教育次長

町内での活用検討が先で、現在のところ、解体は考えていない



質問 長期休暇中等の給食提供、暑さ対策、調理体制及び処遇は検討されたか。

答弁 (教育次長) 事例を参考にして検討していく、調理員に関する事は、総務課にお願いしている。

質問 調理員の募集が常態化しているが、特定の職員に、負担が掛かるような、運用になっていないか。

答弁 (教育次長) 各学校と協力しながら運用しているが、管理上の立場として、特定の職員に、これ以上、無理を掛けないよう注意する。

要望 本物を眼で見る機会の少ない昨今、当地域ならではのロケット発射を見られる機会は、夢のある事であり子供達の笑顔にも繋がる。授業を中断してでも取り組んでいただきたい。

質問 防災訓練放送時に英語対応がなかった理由は。

答弁 (総務課長) 本来、放送されるべき英語放送がぬけ落ちてしまった。今後は留意する。

質問 現状の防災放送の課題はないか。

答弁 (総務課長) 放送が聞こえにくい、うるさい等の声がある。

要望 命に関わる訓練であり、そのための放送であるので、放送におけるバリアフリー化を図り、防災に対する



松本 和彦 議員

効果的な施策を実施していただきたい。

質問 医療体制の今後はどう考えているか。

答弁 (病院事務長) 新宮医療圏をどのようにしていくかを現在検討中である。

要望 那智勝浦町に住んでいても、高度な医療が受けられる仕組みを構築していただき、受診が遅れて、助かる命が助からないと言う事が無いようにしていただきたい。

最終的な町の方向性の決定は

町長でよいのか

町長 色んな意見を聞いた上で、最終的には

責任を持って判断し決定する

質問 各課長の答弁を

町長の答弁として判断して良いのか。

答弁（町長）

全てがそうではない。現在進行形のものも確定ということではない。

弁天島前に公園を

質問

旧栽培センターの跡地を公園に出来ないか。

答弁（観光企画課長）

所有者である和歌山県にジオパークの関連で整備できないか相談したが、実現されていない。現状は数社に貸出し中であり、今後も継続予定である。町としての利活用は難しいと考えている。

質問 現状、公園化が

難しいのであれば、おもてなしの一環としてベンチの設置は出来ないか。

答弁（観光企画課長）

弁天島は町なかの観光スポットの一つと考えている。要望があれば設置の検討をする。

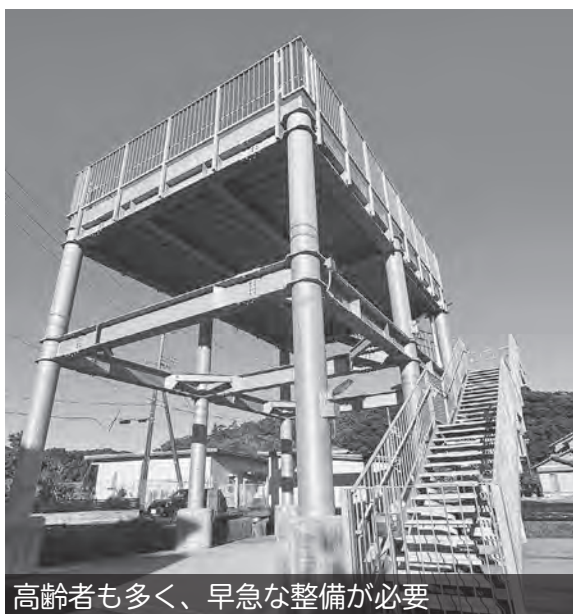
海岸線沿いの地区にも避難タワーを

質問

現在、整備中である築地地区の避難タワーの整備完了後における、沿岸地区への整備計画は。

答弁（総務課長）

築地地区の津波避難タワーが完成すれば、県のプログラムに基づく三連動地震に係るハード整備は一区切りとなる。今後は三連動地震への対策に加えて、南海トラフ巨大地震への対策を検討していく。巨大地震では、より大きな津波が想定される



高齢者も多く、早急な整備が必要

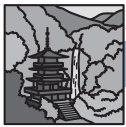
ことから、292基の津波避難タワーが必要になるとの試算が出ている。和歌山県から公表されている「地震・津波の被害想定」は10年余り経過しているこ

とから、被害想定の見直しが予定されており、新たな被害想定に基づく津波対策の比較検討を行いながら整備の準備等を検討していく。



加藤 康高 議員





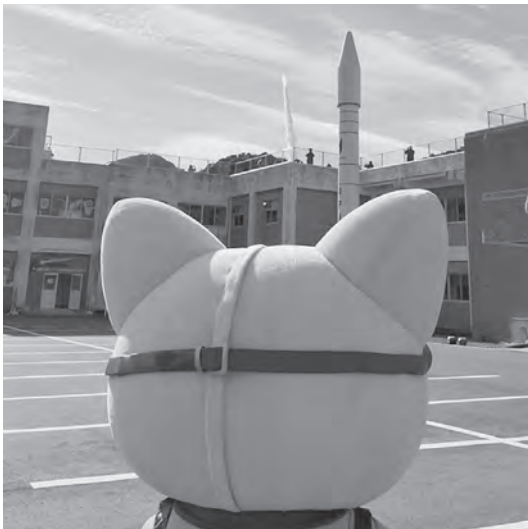
これからに期待 那智勝浦町

総務経済 常任委員会

カイロス2号機 打ち上げ

「宇宙なんちゃら
こてつくん」が応援ア
ンバサダーに就任、打
ち上げ予定日（12月14
日）当日及び翌日に延
期になるも、上空の強
風により延期となり、

12月18日に打ち上げと
なりました。約3分間
飛行しましたが、進行
方向にずれが生じ、飛
行中断処置がされ、機
体は紀伊半島沖の南方
数百kmに落下したとみ
られます。打上げ後の
会見で、スペースワン
社の豊田正和社長は



カイロス2号機とモニュメント、
応援アンバサダーのこてつくん

「9ヶ月前に打ち上げ
を行った1号機と同様、
今回の結果を失敗とは
受け止めていない。今
後の糧となる今回のデ
ータの分析・評価を行

つて一刻も早く再発防
止策を明らかにし、次
の3号機の打ち上げに
挑みたい。」とコメン
トしました。

那智勝浦町の大きな



12月18日 旧浦神小学校屋上より
集まった多くの人々から歓声が湧きあがった

観光資源の1つとなる
ロケット打ち上げ、次
なる打ち上げ発射に期
待です。



空き店舗 活用事業の状況

これまでは年一回の
事業であったが、今年
度は予算を追加し二回
の募集となりました。
募集状況は好調で募
集枠がオーバーになり
ました。委員からは、
応募者に対して、審査
結果についての丁寧な
対応を心がけることや、
応募が多いのであれば、
回数を増やす等の要望
がありました。

戻ってきた観光客

8月に発生した南海
トラフ地震臨時情報に
より宿泊客は減少とな
りましたが、コロナ禍
前の令和元年度と比較
して増加となり、イン
バウンド（訪日外国人）
のお客様については大
きく増加となっている
との報告がありました。

大門坂駐車場を リニューアル

当初、町単独でリニ
ューアルの予定であつ
たが国庫補助金が充當
できることとなったた
め、年度内に基本計画
の入札を行い、来年度
に繰越し実施する予定
となり、デザインを含
めたリニューアル予定
です。



委員会報告



野菜摂取量を手のひらから測定できる
ベジチェックには長蛇の列ができていた

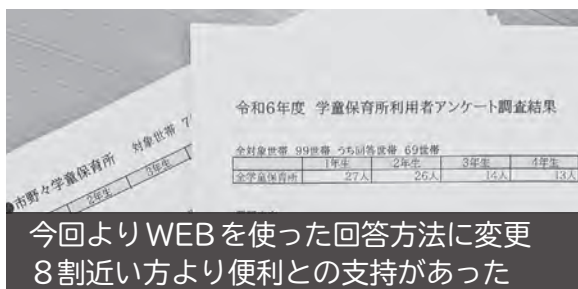
町民の健康への 関心高まる

教育厚生 常任委員会

健康フェスタ開催

予想を上回る来場者
を集め、町民の健康に

対する関心の高さを踏
まえ来年度は規模を拡
大して開催するとの報
告がありました。



今回よりWEBを使った回答方法に変更
8割近い方より便利との支持があった

学童保育所 アンケート結果報告

学童保育所利用者ア
ンケートの結果から問
題点を洗い出し、一つ
一つ解決に努力する旨
の報告がありました。
委員からは結果内容や
解決した問題点をフィ
ードバックすることが
必要との意見が出され
ました。

町立温泉病院 医師・療法士不足

医療人材の不足によ
り収益が減少。なかで
も療法士の不足により
外来でのリハビリも受
け入れできない状況。
引き続き人材確保に努
めるとの報告があり、
委員からも医療従事者
向けの奨学金の拡充を
求める意見がでました。

小・中学校の 校舎と体育館の トイレ洋式化

一部の学校の長寿命
化工事でトイレの洋式
化が進んでいるが、そ
の他の校舎・体育館に
についても避難所にな
りうる施設なので、計
画的に進めるべきとの
意見が委員より出され
ました。

勝浦認定こども園の 今後の在り方

今後10年間の人口推
計や児童数減少及び地
震津波に対する安全性

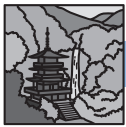
が確保できない等の理
由で令和8年末を目途
に閉園の方向性が示さ
れ、保護者と話し合い
を行っているとの報告
がありました。



私立保育園が2園あり、受入れ
体制に問題はないとの見解



理学療法士によるリハビリの様子



委員会報告



工場棟2階への
ランプウェイ(傾斜路)設置工事が予定されている



5階建ての工場棟の建設が進み、
中央には煙突(30m)が設置されている

新クリーンセンター
建設工事の進捗状況の
報告がありました。
令和5年8月から工
事に着手し、令和6年
11月末の進捗率は、一
部工程の変更等はあつ
たものの68・1%と、
ほぼ予定通り工事が進
んでいるとの報告を受
けました。

令和7年
竣工に向け
建設進む
新クリーンセンター
建設調査
特別委員会



令和6年6月の委員会資料より

建設工事概要

令和7年6月30日完成予定
契約金額47億6,850万円
建物構造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造
建屋規模：5階建 延床面積約5,921.85㎡

開かれた議会に向け
て、議会の映像配信が
始まります。
ユーチューブのサー
ビスを利用し、パソコ
ン・スマートフォン等
で一般質問の様子がご
覧いただけます。
一般質問の制限時間
90分のなかで、各議員
は町当局に対して鋭い
質問で議論を交わして
います。議会だよりの
一般質問ページでは伝
えきれない内容もあり
ますので、どうぞご視
聴ください。

開かれた議会へ
映像配信が始まる

議会改革
特別委員会



町ホームページへの
リンクはこちらから





委員会報告



委員会視察報告

岐阜県揖斐川町

長野県上松町

総務経済 教育厚生 常任委員会

総務経済

常任委員会

令和6年11月26日から28日の2泊3日にて、災害時相互応援協定を交わしている岐阜県揖

斐川町と、友好都市の長野県上松町に視察訪問しました。

揖斐川町では「夜叉ヶ池の里さかうち」「星のふる里ふじはし」等の道の駅を視察見学。

その後、揖斐川町役場を訪問し、揖斐川町の取組や道の駅の運営に関する課題、今後の取組について調査を行いました。

翌日は揖斐川町の谷汲山華厳寺（日本遺産西国三十三所観音霊場三十三番札所）を訪問し、文化遺産の価値や門前町等周辺を中心に文化財を活用した地域活性化を図る取組の視察を行いました。



複数の飲食店のほか、民俗資料館や温泉も備えた道の駅「星のふる里ふじはし」



揖斐川町には道の駅が3ヶ所あり、それぞれの経営状況や課題について質問

教育厚生

常任委員会

上松町の役場新庁舎を見学し、意見交換を行いました。翌日は公民館を視察。

複合施設になっており、子育て支援センター、図書室、会議室、フィットネスルーム、展示フロアやサークル活動利用の部屋、社会福祉法人が運営するカフェなども完備されて



ワンコインの軽食などもあり、子ども食堂にも利用されているカフェスペース

いました。

家族や友達などと長時間でも過ごせる空間となっています。集約されていて利用しやすく考えられていました。



公民館に隣接する社会体育館
健康増進に寄与するボルダリングやフィットネスルームを設置



絵画教室講師より、
公民館活動について意見を伺う

わがらの味噌 「おはつ」を絶やさぬために



『わがらの味噌も、
もう終わりにしようか…』

交流センター太田の郷
事務局長 石田 一 さん

昭和60年、中里友の会から始まりその後、加エグループ「おはつ」として造り続けてきた歴史ある米どころ太田のお味噌。長い年月が経つにつれ後継者も見つからない。

そんな折、太田の郷で国の補助金を活用した改修工事の話が持ち上がったのが令和4年の夏だった。高齢化が進み続ける地域で先行きも不安だらけだが、その不安を力に変えてこれからも伝統を守り、味噌作りを絶やさぬことにチャレンジをし続ける。



太田中学校から太田の郷へ
かつての学び舎が地域交流施設に



糀から丹精込めて造るおはつの味噌
おはつのメンバーから継承し、伝統を守り造り続けている



旧講堂を改修し、
太田の郷に新たな味噌の加工場を建設

発行責任者

議長	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
曾根 和仁	勝山 則子	松本 和彦	加藤 康高	西 太吉	吾妻 正崇	藤社 和美

議会広報編集委員会

住民の皆様にもっと楽しんでもらえる議会だよりをと11月に議会広報アドバイザーの先生をお招きして、研修を受けました。先生に様々な事例を教えてもらい、アイデアが溢れんばかりでしたが、いざ、今号作成になると作成ソフトの壁に阻まれ思うようにいきません。
少しずつ変えていきます。
(吾妻 正崇)

編集後記

太田の郷に、新たな味噌の加工場が建設されました。衛生面に配慮し、皆さん愛情を注ぎ、真心を込めて味噌造りをされているのが、私にも伝わってきました。半年後の「おはつ味噌」の完成が待ち遠しいですね。
(勝山 則子)

表紙の写真から